

大阪工業大学大学院 ディプロマ・ポリシーと学位論文審査項目・基準との関連

大学院 工学研究科 電気電子・機械工学専攻 電気電子工学コース

博士後期課程

《 DPを達成するために特に関連度が高い項目に○ 》

ディプロマ・ポリシー		《 DPを達成するために特に関連度が高い項目に○ 》						
		項目1)	項目2)	項目3)	項目4)	項目5)	項目6)	項目7)
研究科DP	(1) 専門分野における高度な専門性とそれを活用できる研究能力に基づき、課題発見およびその解決に向けた取り組みを実践できる。	○	○	○				
	(2) 外国語を含めた論理的言語表現能力、プレゼンテーション能力およびコミュニケーション能力により、教育・研究内容を他者に伝え、他者の意見も理解し、リーダーシップを発揮することができる。							
専攻DP	(A) 専攻が包含する幅広く、かつ高度な専門知識と見識を持ち、グローバルな視点から諸課題に取り組み、社会の持続可能な発展に貢献することができる。	○				○		
	(B) 専門分野における高度な専門的知識とそれを活用できる研究探究力および統合的な分析能力を修得して、独創的な研究課題の設定および解決に向けた取り組みを自ら実践できる。			○		○		
	(C) 論理的かつ双方向コミュニケーションおよびプレゼンテーション能力を身に付けて、さまざまな情報の受発信を円滑に行うことができ、それをもとに他者との協働によりリーダーシップを発揮できる。							
コースDP	(Ⅰ) 電気電子工学に加えて、他の工学分野に関する高度な学術情報を統合的に理解し、先端技術の動向を分析・総合し、独創的な観点に立って研究課題を自ら設定でき、ユニバーサルな視点と高度な見識から社会倫理に沿った評価を行うことができる。	○		○	○	○		○
	(Ⅱ) 電気電子工学に関する先進的スキルを有し、主体性を持って他の研究者と議論しながら課題発見ならびに解決を主導することができ、国際的な場において双方向コミュニケーションとプレゼンテーションが円滑にできる。							

学位論文審査項目・基準（課程博士・論文博士共通）

審査項目	審査基準（満たすべき水準）
項目1) 論文テーマの妥当性	研究目的が明確で学術的・社会的意義を有すること。
項目2) 研究方法の妥当性	審査基準（満たすべき水準）
項目3) 独創性（新規性）	テーマの設定、研究方法、結論等において、未知の事象・事物の発見や新たな見解を示していること。
項目4) 有用性	得られた知見が関連する分野の学術的・技術的発展に貢献していること
項目5) 信頼性	既往の研究等が適切に評価され、それらを自己の観点から十分に分析していること。
項目6) 完成度	テーマの設定、研究方法、結論等において、未知の事象・事物の発見や新たな見解を示していること。
項目7) 倫理性	研究が倫理的に管理されていること。